2027 年度

社会医療法人緑泉会米盛病院　　看護師特定行為研修

募 集 要 項

社会医療法人 緑泉会
米盛病院
与次郎米盛クリニック

1. 看護師特定行為研修の理念

当院は「一秒を救う。一生につなぐ。」をコンセプトに、命と人生に向き合う専門病院として、開院以来地域に根ざした医療活動を行ってきました。特定行為研修を通じて、高度な臨床実践能力を持つ看護師を育成することにより、医療技術・サービスの質の向上に努め、患者様に寄り添ったより良い医療の提供を継続し、地域医療へのさらなる貢献を目指します。

2. 看護師特定行為研修の目的

特定行為を行う看護師として、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識・技術・態度を身につける。

3. 看護師特定行為研修の目標

1) 医療現場において、疾患や病態の変化を包括的にアセスメントする基本的な能力を身につける。
2) 医療現場において、特定行為を安全に行うための知識・技術及び態度の基礎的な実践能力を身につける。
3) チーム医療において、多職種と効果的に協働し、問題を解決に導く能力を身につける。
4) 自らの看護実践を見直しつつ、標準化する能力を身につける。

4. 開講する看護師特定行為研修コース

南北 600km と広く、離島が多いという地域の特性上、鹿児島県の「救急医療」は多くの課題を抱えている。その課題に対し、当院では、民間救急ヘリ Red Wing 及びドクターカーを活用したプレホスピタル活動や、24 時間救急相談ダイヤルの開設など、救急医療提供体制の整備を継続的に行っており、県内全域から多数の救急患者を受け入れている。地域の救急医療の中核を担う病院としての役割を果たすためには、救急領域において専門性の高い看護師を育成することは必要不可欠である。

また、当院には整形外科・脳神経外科・心臓血管外科など、幅広い診療科領域にまたがる重症の患者が多く来院され、年間の手術件数は約 6,000 件であり緊急手術件数も多いため、周術期における看護の質向上は喫緊の課題の一つである。そのため、術中麻酔管理領域における専門性の高い看護師として、特定行為研修を修了した看護師が、術前から患者の全身状態を評価し、術中・術後のリスク判断と医師・他の看護師との情報共有を行うことで、患者及び家族が安心して安全に治療を受けられる周術期医療の提供体制の強化が可能となる。救急領域および術中麻酔領域の特定行為研修を修了した看護師には、医師との連携（タスクシフト/シェア）により、より迅速かつ安全に治療およびケアを進めることや、患者及び家族に対する精神的配慮もできることが期待される。同時に、重症患者の看護及び術後患者の看護を実践する外科系基本領域および集中治療領域においても、実践能力の高い看護師を育成することは、効率的かつ効果的な病院運営を行う上で重要であると考える。

特定看護師を自施設で育成できる最大のメリットは、臨床現場のニーズに合わせて研修の内容を検討できる

ということである。パッケージ研修は、特定の分野で活躍したい看護師にとって、効果的・効率的に必要な知識や技術を習得できる選択肢となり、さらに自身のキャリアデザインや働く現場に合わせて検討することができる。しかし、区分別研修と比べて研修時間が長く、実習では必要症例数が多くなるという特徴がある。そのため、区分別研修のみを受講できる環境を整えた。受講者自身が区分別研修を選択することで、学びたい研修のみを学習することができる。さらに、パッケージ研修の受講と比較して研修時間数が削減される場合があるため、仕事と研修を受講するバランスを保つことができるメリットがあると考える。

最後に、開講する区分別研修を４つのパッケージ研修の内容のみに限定した理由は、当院として特定看護師へ求める学習内容であるからである。

5. 募集定員

総定員：12 名

領域別パッケージ研修	定員
周術期麻酔管理領域	3 名
救急領域	3 名
外科系基本領域	3 名
集中治療領域（米盛版）	3 名

特定行為区分（区分別科目）	区分	周術期麻酔管理領域	救急領域	外科系基本領域	集中治療領域	総定員（最大）
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 名	3 名	3 名		3 名	11 名
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	3 名	3 名	3 名		3 名	12 名
循環器関連	1 名				3 名	4 名
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	2 名			3 名	3 名	8 名
創傷管理関連	2 名			3 名		5 名
創部ドレーン管理関連	2 名			3 名		5 名
動脈血液ガス分析関連	3 名	3 名	3 名	3 名	3 名	12 名
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	2 名	3 名	3 名	3 名		11 名
感染に係る薬剤投与関連	2 名			3 名		5 名
術後疼痛管理関連	2 名	3 名		3 名		8 名
循環動態に係る薬剤投与関連	2 名	3 名			3 名	8 名
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	2 名		3 名			5 名

※循環器関連の区分別研修の受講に関しては、緑泉会職員のみが受講可能。

6. 受講内容の選択

共通科目研修及び選択した領域別パッケージ研修もしくは、特定行為区分研修を受講する。

領域別パッケージ研修については、一度の研修で選択できるのは１領域までとする。

ただし、集中治療領域を選択した場合は、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連及び動脈血液ガス分析関連も選択を必須とし、集中治療領域で免除可とされている「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」及び「直接動脈穿刺法による採血」も受講するものとする。これを「集中治療領域パッケージ（米盛版)」と呼称する。

一方で、区分別科目研修のみを選択する場合は、複数の区分を選択し受講することができる。

(受講例)

・パッケージ研修を選択する場合：共通科目研修＋区分別科目研修（パッケージ研修の内容)

・区分別科目研修を選択する場合：共通科目研修＋選択した区分別科目研修

(選択不可)

・パッケージ研修の他に、追加で区分別研修を選択すること

・複数のパッケージ研修を受講すること

※既習得科目免除許可書で認められた内容は、共通科目研修の受講が免除となる。

7. 研修内容

1) 共通科目研修

演習は、オンラインでの研修となります。(法人外の受講生は、自宅で受講可能です。)

実習は、対面での集合研修となります。(法人外の受講生も、集合していただきます。)

それ以外は、e-ラーニングでの学習が中心となります。

科目名	時間数						評価方法
	講義	演習	実習	評価	計	合計	
臨床病態生理学	27	2		1	30	250	筆記試験
臨床推論	35	8	1	1	45		筆記試験、観察評価
フィジカルアセスメント	39	3	2	1	45		筆記試験、観察評価
臨床薬理学	35	9		1	45		筆記試験
疾病・臨床病態概論（主要疾患）	27	2		1	30		筆記試験
疾病・臨床病態概論（状況）	7	2		1	10		筆記試験
医療安全学・特定行為実践	22	13	9	1	45		筆記試験、観察評価

2） 区分別科目研修

演習は、オンラインでの研修となります。（法人外の受講生は、自宅で受講可能です。）

OSCE のトレーニング研修時（9 月～11 月の期間内で合計 3 日間）は、対面での集合研修となります。（法人外の受講生も、集合していただきます。）

それ以外は、e-ラーニングでの学習が中心となります。

特定行為区分の名称	研修方法		時間数		
	領域	区分	講義	演習	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	○		9		9
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	○		21	8	29
循環器関連	○	○	17	3	20
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	○		7		7
創傷管理関連	○	○	34		34
創部ドレーン管理関連	○		5		5
動脈血液ガス分析関連	○		13		13
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	○	○	14	2	16
感染に係る薬剤投与関連	○		25	4	29
術後疼痛管理関連	○		7	1	8
循環動態に係る薬剤投与関連	○	○	23	5	28
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	○	○	28	4	32

3）特定行為別の講義時間と実習時の取得症例数および評価方法

特定行為に共通して学ぶべき事項	時間数			症例数	評価方法
特定行為の名称	講義	演習	計		
呼吸器（気道確保に係るもの）関連の基礎知識	4		4		筆記試験
経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5		5	5	筆記試験、実技試験 観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連の基礎知識	5		5		筆記試験
侵襲的陽圧換気の設定の変更	4	2	6	5	筆記試験、観察評価
非侵襲的陽圧換気の設定の変更	4	2	6	5	筆記試験、観察評価

人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	4	2	6	5	筆記試験、観察評価
人工呼吸器からの離脱	4	2	6	5	筆記試験、観察評価
循環器関連の基礎知識	4		4		筆記試験
一時的ペースメーカの操作及び管理	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
一時的ペースメーカリードの抜去	4		4	5	筆記試験、観察評価
経皮的心肺補助装置の操作及び管理	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連の基礎知識	3		3		筆記試験
中心静脈カテーテルの抜去	4		4	5	筆記試験、観察評価
創傷管理関連の基礎知識	12		12		筆記試験
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	14		14	5	筆記試験、実技試験観察評価
創傷に対する陰圧閉鎖療法	8		8	5	筆記試験、観察評価
創部ドレーン管理関連の基礎知識	2		2		筆記試験
創部ドレーンの抜去	3		3	5	筆記試験、観察評価
動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5		5		筆記試験
直接動脈穿刺法による採血	4		4	5	筆記試験、実技試験観察評価
橈骨動脈ラインの確保	4		4	5	筆記試験、実技試験観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	6		6		筆記試験
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	4	1	5	5	筆記試験、観察評価
脱水症状に対する輸液による補正	4	1	5	5	筆記試験、観察評価
感染に係る薬剤投与関連の基礎知識	15		15		筆記試験
感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	10	4	14	5	筆記試験、観察評価
術後疼痛管理関連の基礎知識	4		4		筆記試験
硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	8		8		筆記試験
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	3	1	4	5	筆記試験、観察評価

持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	3	1	4	5	筆記試験、観察評価
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連の基礎知識	14		14		筆記試験
抗けいれん剤の臨時の投与	4	2	6	5	筆記試験、観察評価
抗精神病薬の臨時の投与	5	1	6	5	筆記試験、観察評価
抗不安薬の臨時の投与	5	1	6	5	筆記試験、観察評価

4）領域別パッケージ

※厚生労働省が「免除可」とする行為を免除する。ただし、集中治療領域を選択した場合は、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連及び動脈血液ガス分析関連も選択を必須とし、集中治療領域で免除可とされている「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」及び「直接動脈穿刺法による採血」も受講するものとする。

領域	特定行為区分	特定行為
周術期麻酔管理領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸器からの離脱
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正
	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
救急領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱

	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与
外科系基本領域	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去
	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正
	感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
集中治療領域（米盛版）	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
	循環器関連	一時的ペースメーカの操作及び管理
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整

領域別パッケージの名称	区分数	行為数	時間数
集中治療領域（米盛版）	6　区分	12　行為	86　時間
救急領域	5　区分	9　行為	82　時間
外科系基本領域	7　区分	7　行為	95　時間
周術期麻酔管理領域	6　区分	8　行為	70　時間

【 集中治療領域パッケージ（米盛版）（6 区分 12 行為） 】

想定する患者像

・様々な臓器が障害を受け集中治療を要する重症な患者や、心臓手術後等の術後の患者

特定行為区分	時間数（時間）				
	講義	演習	合計	OSCE ※シラバスの時間外	症例数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間		9 時間	1 時間	5 症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	21 時間	8 時間	29 時間	－	20 症例
循環器関連	7 時間	1 時間	8 時間	－	5 症例
栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連	7 時間		7 時間	－	5 症例
動脈血液ガス分析関連	13 時間		13 時間	1 時間	10 症例
循環動態に係る薬剤投与関連	17 時間	3 時間	20 時間	－	15 症例
合計	74 時間	12 時間	86 時間	2 時間	60 症例

【 救急領域パッケージ（5 区分 9 行為） 】

想定する患者像

・迅速な対応が求められる 2 次又は 3 次救急医療の現場において、頻繁に行われる処置が必要な患者

特定行為区分	時間数（時間）				
	講義	演習	合計	OSCE ※シラバスの時間外	症例数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間		9 時間	1 時間	5 症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	21 時間	8 時間	29 時間	－	20 症例
動脈血液ガス分析関連	13 時間		13 時間	2 時間	10 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	10 時間	1 時間	11 時間	－	5 症例
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	18 時間	2 時間	20 時間	－	5 症例
合計	71 時間	11 時間	82 時間	3 時間	45 症例

【 外科系基本領域パッケージ（7 区分 7 行為） 】

想定する患者像

・手術が行われた後、病棟での一般的な管理下で周術期をおくる患者

特定行為区分	時間数（時間）				
	講義	演習	合計	OSCE ※シラバスの時間外	症例数
栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連	7 時間		7 時間	－	5 症例
創傷管理関連	26 時間		26 時間	1 時間	5 症例
創部ドレーン管理関連	5 時間		5 時間	－	5 症例
動脈血液ガス分析関連	9 時間		9 時間	1 時間	5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	10 時間	1 時間	11 時間	－	5 症例
感染に係る薬剤投与関連	25 時間	4 時間	29 時間	－	5 症例
術後疼痛管理関連	7 時間	1 時間	8 時間	－	5 症例
合計	89 時間	6 時間	95 時間	2 時間	35 症例

【 周術期麻酔管理領域パッケージ（6 区分 8 行為） 】

想定する患者像

・麻酔管理のもと手術を行う術中の患者

特定行為区分	時間数（時間）				
	講義	演習	合計	OSCE ※シラバスの時間外	症例数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間		9 時間	1 時間	5 症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	13 時間	4 時間	17 時間	－	10 症例
動脈血液ガス分析関連	13 時間		13 時間	2 時間	10 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	10 時間	1 時間	11 時間	－	5 症例
術後疼痛管理関連	7 時間	1 時間	8 時間	－	5 症例
循環動態に係る薬剤投与関連	11 時間	1 時間	12 時間	－	5 症例
合計	63 時間	7 時間	70 時間	3 時間	40 症例

8. 研修期間とスケジュール

2027 年 4 月 1（木）日～2028 年 2 月 29 日（火）

【年間スケジュール】

日程	内容
2027 年 4 月	開講式、オリエンテーション、共通科目（e ラーニング）
4 月～8 月末	共通科目研修（e ラーニング）、オンライン演習、集合研修
8 月下旬	手順書の作成に関するオリエンテーション（集合）
9 月～11 月末	区分別科目研修（e ラーニング）、オンライン演習、集合研修、手順書作成 OSCE トレーニング研修（3 日間）
12 月上旬	OSCE　12 月 1 日（水）
2027 年 12 月中旬	臨地実習　12 月 13 日（月）～12 月 24 日（金）
1 月	臨地実習
2 月	臨地実習、最終評価　2 月 29 日（火）
3 月上旬	合格判定会議
3 月中旬	研修修了式（予定）

※詳細は、ホームページ上で「研修スケジュール」を参照ください。

※研修期間とスケジュールの詳細は受講決定後にお伝えします。

【区分別科目から受講する場合】

日程	内容
2027 年 8 月中旬	オリエンテーション
8 月下旬	手順書の作成に関するオリエンテーション（集合）
9 月～11 月末	区分別科目研修（e ラーニング）、オンライン演習、集合研修、手順書作成 OSCE トレーニング研修（3 日間）
12 月上旬	OSCE　12 月 1 日（水）
2027 年 12 月中旬	臨地実習　12 月 13 日（月）～12 月 24 日（金）
1 月	臨地実習
2 月	臨地実習、最終評価　2 月 29 日（火）
3 月上旬	合格判定会議
3 月中旬	研修修了式（予定）

※詳細は、ホームページ上で「研修スケジュール」を参照ください。

※研修期間とスケジュールの詳細は受講決定後にお伝えします。

9. 研修場所

特定行為研修の実習施設については、受講者が勤務する施設（自施設）で行っていただきます。
管理者と事前に相談し、特定行為実習が自施設で実施できるよう準備を進めてください。
開講前から特定行為実習を自施設で行える環境を整えていくプロセスによって、指導医との信頼関係のもと安全な特定行為実践が可能となります。

【自施設実習を推奨する理由】

(1)　研修修了後に活動するための基盤づくり

・研修修了後に自施設で特定行為を実施する場合は指導医が必要となるため。
・自施設実習の準備の段階から指導医と連携を図ることができるため。
・施設によって特定行為の内容や求めるレベルが異なり、自施設に合わせた実習が可能となるため。

【自施設実習要件】

(1)　自施設の医療安全体制、緊急時の対応体制を構築していること。
(2)　指導者を確保できること。
ア　指導者とは以下の者をいう。（医師、看護師ともに何れか一つを満たすこと）
（医師）
・医師の臨床研修に係る指導医講習会を受講している。
・医師臨床研修指導歴がある。
・担当分野に関する医学生への指導歴がある。
（看護師）
・特定行為研修を修了した者（区分は問わない）
・認定看護師または専門看護師であること。
・大学などにおける教授経験を有すること。
イ　特定行為研修指導者講習会を受講していることが望ましい。
ウ　指導者には必ず医師が含まれていること。
(3)　患者への説明と同意の体制がとれること。
(4)　実習期間内に該当症例数の確保等の要件を満たす体制があること。

10. 修了要件

次の要件をすべて満たし、特定行為研修管理委員会において修了が認められることが必要です。
修了者には、指定研修機関より研修修了証を発行します。

1) 共通科目をすべて履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること。
2) 共通科目終了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価、一部の科目では筆記試験に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法 37 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

11. 他の指定研修機関等で履修した科目について

他の指定研修機関等ですでに履修した共通科目の各科目及び区分別科目については、受講申込時に申請をしていただくことで、当該科目の履修の状況に応じ、その全部または一部を免除することができます。

12. 出願資格

次に定める要件を満たしていることとする。

1) 日本国内における看護師免許を有していること。
2) 受講開始までに、看護師免許取得後 5 年程度の実務経験を有していること。
3) 自施設において、選考基準に該当している者。
4) 自施設からの推薦があること。
5) 日本看護協会に入会していること。
6) 看護師向け賠償責任保険（※保険の名称は問わないが、特定行為に関する補償が明記されているもの）に加入すること。
7) 実習までに、4 種ウイルス（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）、B 型肝炎の抗体価検査を実施し、基準に満たない場合は予防接種を実施すること。
8) 自施設での特定行為実習が可能であること。
9) 学習時間の確保が可能であること。
10) 集合研修および演習時に、当院の研修センターに来ることができること。

13. 出願期間

2026 年 11 月 2 日から 12 月 18 日（当日消印有効）
募集要項及び出願書類書式は、以下ホームページよりダウンロードしてください。
米盛病院　看護師特定行為研修センターホームページ
「 https://www.yonemorihp.jp/medical-personnel/tokutei-nurse/ 」

14. 出願提出書類

□	【本用紙】申請チェックリスト
□	【様式 1】受講申請書
□	【様式 2】履歴書
□	【様式 3】推薦書
□	【様式 4】受講動機
□	【様式 5】連絡先届 ※緑泉会職員は、提出不要です。
□	【様式 6】既修得科目履修免除申請書（履修免除を申請する場合のみ提出する。） ※特定行為研修の修了を証明する書類の写し、修了した研修内容、履修時のシラバスを同封すること。 ※なお、提出された書類は返却いたしません。
□	【様式 7】特定行為実習に関する施設情報 ※パッケージ研修を希望する場合は、該当するパッケージ研修の書類を使用してください。 ※区分別研修を希望する場合は、区分別研修（選択用）の書類を使用してください。
□	看護師免許証の写し　※ A4 判に縮小の両面コピー（看護師免許の表裏） ※緑泉会職員は、提出不要です。
□	認定・専門看護師認定証の写し（対象者のみ、有効期限内のもの） ※緑泉会職員は、提出不要です。
□	受講審査料 10,000 円（消費税込み）の振込を確認できる書類の写し （A4 用紙に貼付し提出してください） 【受講審査料振込先】 銀行名　　鹿児島銀行　草牟田支店 普通口座　3003604 フリガナ　ヨネモリビョウインガクシュウシエンジムキョク 口座名義　米盛病院学習支援事務局 【振込依頼人名】 トクテイ　受講者名 ※既納の受講審査料に関しては、原則返還いたしません。 ※緑泉会職員は、振込不要です。

上記の出願書類を封入のうえ、封筒表に「特定行為研修受講出願書類在中」と朱書きのうえ、以下の送付先に必ず「簡易書留」で送付または直接持参してください。

※提出された書類は返却いたしません。

（送付先及び問い合わせ窓口）

〒890-0062　鹿児島県鹿児島市与次郎 1-7-1

社会医療法人緑泉会米盛病院　看護師特定行為研修センター　担当者

TEL：099-230-0100

15. 選考方法及び日時

1 次審査：2027 年 1 月 8 日まで（選考方法：書類審査）

（※1 次審査合格者については、2 次審査の面接日を文書にて通知する。）

2 次審査：2027 年 1 月 18 日～2 月 5 日まで（選考方法：面接）

（※緑泉会職員に関しては、院内のスケジュールに準ずる）

16. 合否発表

2027 年 2 月 12 日 14 時

（※緑泉会職員に関しては、院内スケジュールに準ずる）

合否結果は、本人宛簡易書留にて郵送します。なお、試験の結果に関する問い合わせには対応いたしかねますので、予めご了承ください。

17. 研修手続き及び研修受講料の支払いについて

受講決定通知の際に、受講料請求書および誓約書（医療情報システム申請書)、履修免除申請をされ、許可を受けた方には、履修免除許可書を送付いたします。同封書類の返送および受講料の支払い手続きに関しましては、手続き期間中にお願いいたします。

（※緑泉会職員に関しては、院内の規程に準ずる）

受講手続き期間：2027 年 2 月 15 日～2027 年 3 月 19 日（※当日消印有効）

受講料

共通科目（必修）	法人内受講者	法人外受講者
	150,000 円	250,000 円

区分別科目（選択）	法人内受講者	法人外受講者
①呼吸器（気道確保に係るもの）関連	30,000 円	50,000 円
②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	70,000 円	100,000 円
③循環器関連	60,000 円	
④栄養に係るものカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連	35,000 円	70,000 円
⑤創傷管理関連	70,000 円	100,000 円
⑥創部ドレーン管理関連	20,000 円	30,000 円
⑦動脈血液ガス分析関連	40,000 円	60,000 円
⑧栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	40,000 円	60,000 円
⑨感染に係る薬剤投与関連	70,000 円	100,000 円
⑩術後疼痛管理関連	30,000 円	50,000 円
⑪循環動態に係る薬剤投与関連	70,000 円	100,000 円
⑫精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	70,000 円	100,000 円

領域別（パッケージ）研修 （※共通科目研修受講料込）	法人内受講者	法人外受講者
集中治療領域パッケージ（米盛版）	350,000 円	720,000 円
救急領域パッケージ	350,000 円	650,000 円
外科系基本領域パッケージ	350,000 円	650,000 円
術中麻酔管理領域パッケージ	350,000 円	650,000 円

※受講料には、消費税及び地方消費税を含みます。

【受講料振込先】

銀行名　　鹿児島銀行　草牟田支店

普通口座　3003604

フリガナ　ヨネモリビョウインガクシュウシエンジムキョク

口座名義　米盛病院学習支援事務局

【振込依頼人名】

トクテイ　受講者氏名

※既納の受講審査料に関しては、原則返還いたしません。

18. 個人情報の取り扱いについて

社会医療法人緑泉会米盛病院　看護師特定行為研修センターでは、個人情報の保護に関する法令を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理の為に必要な措置を講じております。

出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。

なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適切な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾無しに第三者へ開示・提供することはありません。

19. その他

・研修方法は、e-ラーニングの視聴及びオンライン演習、実技研修となります。オンライン演習および実習時に提出するレポートは、word もしくは Pages（他）を使用することになります。したがいまして、個人用のメールアドレスおよび各自でオンライン学習の環境（携帯不可）を整えるよう、お願いいたします。
・研修期間中、駐車場を利用する場合は、利用届けを提出していただきます。
・法人外の受講者の方は、特定行為研修実習協力施設に関する届け出を提出していただきます。

20. お問い合わせ先

〒890-0062　鹿児島県鹿児島市与次郎 1-7-1

社会医療法人緑泉会米盛病院　看護師特定行為研修センター　担当者

TEL：099-230-0100